



2016年3月30日

不二サッシグループ千葉事業所 新溶解・鋳造設備設置のお知らせ

不二サッシグループ千葉事業所（千葉縣市原市）におきまして、かねてより進めていましたアルミニウム鋳造工場の新溶解・鋳造設備の第1期工事が完了し、2016年3月24日の火入れ式を経て、3月28日より操業を開始しました。

今般の新溶解・鋳造設備設置は、設備の単なる更新ではなく、当社グループの生産設備の要である鋳造設備の近代化・最適化を図ることにより、イニシャルコスト、ランニングコストの削減を図るとともに、省エネおよびCO2排出量削減による環境負荷の低減に努めたものです。

今般の新溶解・鋳造設備設置により、今後、安定した高品質の製品をお客様にお届けするとともに、高効率な稼働により、業績の向上につなげてまいります。

なお、2016年9月に第2期工事（付帯設備）の完成を予定しております。

【鋳造設備概要】

1. 所在地： 千葉縣市原市八幡海岸通13 不二ライトメタル株式会社
2. 鋳造工場（溶解、鋳造）建屋面積： 2,447㎡
3. 着工： 2015年7月
4. 稼働： 2016年3月
5. 投資額： 約21億円
6. 設備能力： 2,500t/月

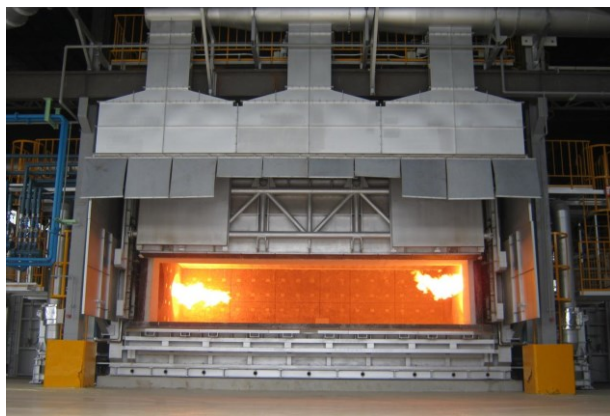
■環境負荷低減

- ・溶解炉の燃料を都市ガスへ変更
- ・溶解炉に省エネバーナーを採用（リジェネレーティブバーナー）
 - ※ 排ガスの熱量を燃焼予熱空気として有効利用し省エネを図る方式
 - 省エネバーナーによる燃料削減効果（燃料原単位で33.6%の削減）
 - 地球温暖化の原因となるCO2排出量を、年当たり1,574t（50.4%）削減
 - 大気汚染の原因となる硫黄分の排出をゼロに

■効率化

- ・溶解炉の材料投入口の幅を7m（既設は2.8m）に拡張
 - 長尺リサイクル材を切断またはプレス加工せずに直接投入し、作業効率向上を図る
- ・鋳造機（アルミビレット生産設備）を1台から2台に増設
 - 操業度に合わせた効率的な稼働により、生産性原単位の向上を図る

新溶解炉



▼ お問い合わせ